**研究課題**：食道閉鎖根治術における胸腔鏡手術と開胸手術の中長期予後の比較

1. **研究の目的**

先天的な病気の一つである食道閉鎖症において、従来から行われている開胸による根治術と近年広まってきている胸腔鏡による根治術に関して、例えば胸郭の変形など、中長期的な合併症に差があるかを調べたいと考えています。

1. **研究の方法**

2003年1月から2016年12月までに食道閉鎖症との診断で当院において根治術を施行された患者様が対象となります。診療録から、手術の方法や手術時の状況、その後の外来での経過等の情報を調べまとめます。

1. **研究期間**

2021年11月（倫理委員会で承認を得られた日）から2022年4月まで。

1. **研究に用いる資料・情報の種類**

手術時の状況とその後の経過をカルテ記載、画像検査結果から、特に合併症が発生していないか、発生していたらどのような処置が必要であったかを調べまとめます。個人情報を一切含まない画像などが論文内に掲載されることがあります。

1. **外部への資料・情報の提供、研究成果の公表**

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

1. **研究組織**

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構　埼玉県立小児医療センター

研究責任者：埼玉県立小児医療センター　小児外科 医長 服部 健吾

研究分担者：埼玉県立小児医療センター　小児外科 副部長 川嶋 寛

 埼玉県立小児医療センター　小児外科 医長 石丸 哲也

1. **お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先**

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年12月31日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表048-601-2200）